

所属名	事務事業名	ページ番号
高齢福祉課	地域介護・福祉空間整備事業	2
高齢福祉課	地域介護施設開設補助事業	3
高齢福祉課	高齢者保健福祉計画策定経費	4
高齢福祉課	成年後見制度利用支援事業	5
高齢福祉課	老人福祉センター等運営事業	6
高齢福祉課	敬老祝金	7
高齢福祉課	敬老行事補助金	8
高齢福祉課	はり・灸・マッサージ扶助事業	9
高齢福祉課	高齢者趣味の作品展	10
高齢福祉課	高齢者スポーツ大会	11
高齢福祉課	老人センター等改修事業	12
高齢福祉課	シルバー人材センター助成事業	13
高齢福祉課	高齢者バス優待乗車券購入助成事業	14
高齢福祉課	老人クラブ助成事業	15
高齢福祉課	安否確認事業	16
高齢福祉課	生活支援員派遣事業（生活支援員派遣・短期宿泊）	17
高齢福祉課	軽度生活支援事業	18
高齢福祉課	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	19
高齢福祉課	日常生活用具給付事業（高齢福祉課）	20
高齢福祉課	緊急通報システム整備事業	21
高齢福祉課	家族介護用品支給事業・在宅介護継続支援事業	22
高齢福祉課	家族介護教室事業	23
高齢福祉課	入院時コミュニケーション支援事業	24
高齢福祉課	高齢者実態調査事業	25
高齢福祉課	高齢者ふれあいサロン事業	26
高齢福祉課	生活・介護支援サポーター養成事業	27
高齢福祉課	生活支援体制整備事業	28
高齢福祉課	医療連携相談支援事業	29
高齢福祉課	高齢者福祉施設マップ更新事業	30
高齢福祉課	認知症施策推進事業	31
高齢福祉課	高齢者世話付住宅生活援助員派遣	32
高齢福祉課	生活支援ハウス運営事業	33
高齢福祉課	老人ホーム措置事業	34
高齢福祉課	佐賀中部広域連合負担金	35
高齢福祉課	社会福祉法人利用者負担減免事業	36
高齢福祉課	地域包括支援センター運営事業	37
高齢福祉課	高齢者健康教育事業	38
高齢福祉課	介護予防教室事業	39
高齢福祉課	介護予防・生活支援サービス事業	40
高齢福祉課	データ活用による介護予防推進事業	41
高齢福祉課	指定介護予防支援事業	42

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域介護・福祉空間整備事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	介護予防の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	高齢者施設等の防災・減災対策を推進するため、老朽化した施設の改修、スプリンクラーの整備、耐震化整備等のほか、倒壊の危険性のあるブロック塀等の改修について補助を行う。				
事業の対象者	市内の介護保険施設等で、補助金によって各種整備を行う事業所				
令和5年度 主な活動実績	認知症高齢者グループホーム改修（繰越明許）：2件 認知症高齢者グループホーム改修：2件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,392	12,856	7,730	20,223	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
整備を行った事業所（累計）						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	5 3	8 4	11 8	14		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	当事業の財源は国庫であるため、国の予算状況及び補助事業の採択条件などに左右されることになる。



成果目標達成に向けた対応策等
国の交付金事業のため、国の動向を見ながらの事業実施となるが、今後も引き続き高齢者施設等の利用者・職員等が安全、安心を確保するための環境づくりを進めていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域介護施設開設補助事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	高齢者が住み慣れた地域で生活を続けるために、認知症高齢者グループホーム等の施設の開設を行う法人等に対し、開設費用の一部を助成し、高齢者福祉サービスを提供する取り組みを支援することにより、地域福祉を推進し、多様な福祉サービスの充実に資する。				
事業の対象者	地域密着型サービス施設等の整備を行う事業所				
令和5年度 主な活動実績	認知症高齢者グループホーム新築（線越明許）：1件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	96,302	82,306	123,236	41,151	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域密着型サービス施設等の整備を行った事業所（累計）						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	6 4	9 7	12 8	15		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	当事業は地域の実情に応じてサービス種の決定がなされることから、決定条件で左右されることになる。



成果目標達成に向けた対応策等
事業を実施する事業所と連携を図り、事業スケジュールの把握等を行い、年度内完了を目指す。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	高齢者保健福祉計画策定経費	事業期間	令和 5 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	高齢福祉課	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀中部広域連合が策定する介護保険法に基づく介護保険事業計画と合わせて、3年毎に見直し（策定）を行っている。</li> <li>・介護保険事業計画と整合性を持ちつつ、介護保険サービスとそれ以外のサービスとを適切に組み合わせ、地域における総合的な高齢者保健福祉の質向上を図る。</li> </ul>				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	老人福祉法第20条の8、介護保険法117条				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	672	—	—	439	—
うち佐賀市の負担額	530	—	—	291	—

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
策定委員会 開催数					回	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
3	—	—	3	—		
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

佐賀市高齢者保健福祉計画策定委員会設置要綱に基づき、各種市民団体の代表者、学識経験を有する者等17名で委員会を組織している。  
 策定委員会を通し、重点目標や取り組みの概要、計画素案について協議を行った上で本計画を策定しており、今後も、策定年度には策定委員会を複数回開催する予定である。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	成年後見制度利用支援事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 地域包括支援係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	個別相談・啓発活動により制度の利用を促進する。制度の利用が必要な65歳以上の高齢者に対して、申し立てを行う親族がない場合で特に必要があると認められるときに後見開始等の審判の請求を行う。また、制度の利用にあたり、成年後見人、保佐人、補助人に対する報酬を負担することが困難な者に対し、報酬を助成する。				
事業の対象者	判断能力の低下により制度の利用を必要としている本人、その家族、関係機関等				
令和5年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度に関する相談対応</li> <li>・生活困窮状態にある高齢者の後見人等に対する報酬助成 42件</li> <li>・制度の普及啓発のためのセミナーの開催</li> <li>・親族と疎遠な高齢者に対する成年後見市長申し立て 12件</li> </ul>				
<b>決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,891	6,817	17,527	19,367	
うち佐賀市の負担額	0	499	4,318	4,517	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
相談件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
569	580	590	600	610	610	
	606	541	567			

年度	目標	実績
R2	580	569
R3	580	606
R4	590	541
R5	600	567
R6	610	610

成果指標②						単位
報酬助成件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
36	46	56	66	76	76	
	36	40	42			

年度	目標	実績
R2	46	36
R3	46	36
R4	56	40
R5	66	42
R6	76	76

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	相談件数は減少したものの567件の相談がある。また、報酬助成件数は増加していることから、市民等のニーズは高いと見込まれる。



成果目標達成に向けた対応策等
令和4年度から権利擁護支援を推進する中核機関を設置し、成年後見制度等の続きについて市民が利用しやすい環境整備を行った。今後は、中核機関の活用や連携を行うことで、高齢者の権利擁護や市民後見人の養成等を推進していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	老人福祉センター等運営事業	事業期間	昭和 43 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	生きがいづくり・社会参加の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	市内6箇所のいきがい館で、60歳以上の高齢者が健康で明るい生活ができるよう、生活や健康などの各種相談に応じ、健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の便宜を提供するために適切な施設運営を行う。				
事業の対象者	佐賀市内に居住する60歳以上の高齢者				
令和5年度主な活動実績	高齢者の生きがいづくりや健康増進のための施設運営を行い、郷土史・時事問題・園芸等の講座を開催した。また、いきがい館巨勢（巨勢老人福祉センター）において、非常灯照明装置修繕及びカーペット貼り替え、いきがい館開成（開成老人福祉センター）において、循環浴槽配管改良、いきがい館大和（大和老人福祉センター）において、雨漏り修繕、いきがい館金立（金立いきいの家）において、軒裏補修、を行った。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	86,351	85,868	87,041	87,028	
うち佐賀市の負担額	61,427	60,025	59,446	67,038	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施設利用者数(延べ)						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
62,616	63,000 61,063	63,000 68,568	63,000 68,657	63,000		

成果指標②						単位
高齢者教養講座受講者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
239	240 220	240 206	240 208	240		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	コロナウイルス感染対策をしっかり行い、利用者者数は回復している。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
コロナウイルス感染症対策をし、利用者数はコロナ禍前に回復している。よって、利用者の安全のために、施設の老朽化に伴う修繕を計画的に行う必要がある。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	敬老祝金	事業期間	昭和 53 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	生きがいづくり・社会参加の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	敬老の意を表し、88歳と100歳の高齢者に対し、敬老祝記念品及び敬老祝金を支給する。				
事業の対象者	88歳、100歳、最高齢者（佐賀市敬老祝金の支給等に関する条例に基づく）				
令和5年度 主な活動実績	88歳対象者及び最高齢者へ敬老祝記念品を贈呈し、100歳対象者へ祝金50,000円を支給した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	15,766	16,341	16,294	16,731	
うち佐賀市の負担額	15,766	16,341	16,294	16,731	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
88歳記念品対象者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,362	1,374 1,357	1,273 1,376	1,417 1,341	1,310		

成果指標②						単位
100歳祝金対象者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
84	107 102	80 101	80 102	95		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	88歳・100歳高齢者共に、見込みどおりの結果となった。



成果目標達成に向けた対応策等
長寿者となられた方々に畏敬と尊敬の念を含め祝意を表す事業であるため、喜んでもらえるよう、品目や配布方法の検討を行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	敬老行事補助金	事業期間	昭和 51 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	生きがいづくり・社会参加の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	各地区の実行委員会や市内の高齢者施設が開催する敬老行事に対し、市の交付基準により算定した補助金を交付する。				
事業の対象者	高齢者（補助金の交付基準は、75歳以上の高齢者）				
令和5年度 主な活動実績	地域で行われた敬老行事の主催団体に対して、市の交付基準により算定した補助金を交付した。 （助成団体）32地区、11施設（対象者数）35,624人（助成額）35,624千円				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	33,757	33,870	34,771	35,646	
うち佐賀市の負担額	33,757	33,870	34,771	35,646	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補助金交付件数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
43	45 43	45 43	45 43	45 43	45	

年度	目標	実績
R2	45	43
R3	45	43
R4	45	43
R5	45	43
R6	45	43

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	各団体の申し出により、2 単位自治会・2 施設において敬老行事開催を中止した。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
R2から敬老行事の開催に加えて、敬老祝い品の配布についても補助の対象としている。 今後も引き続き、同様の対応を行っていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	はり・灸・マッサージ扶助事業	事業期間	昭和 49 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	施術院によるあん摩、はり、きゅうの施術を受ける65歳以上の高齢者に対し、1回1,000円、年度内24回までを助成する施術券を交付する。				
事業の対象者	佐賀市の住民基本台帳に記載されている65歳以上の高齢者				
令和5年度 主な活動実績	あん摩、はり、きゅう等の施術を受ける65歳以上の方に対し、1回の施術料に対して1,000円（年度内24回を上限）の助成を行った。 令和5年度利用回数：18,495回				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,686	20,554	20,767	19,417	
うち佐賀市の負担額	9,598	10,388	10,713	9,183	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
交付人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,297	3,400 3,467	3,500 3,473	3,600 3,456	3,700		

成果指標②						単位
対象者に占める交付者の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5	5 5.2	5 5.2	5 5.2	5		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	今後、対象者の人口増加が見込まれるため、対象者に占める交付者の割合を維持することで交付人数の目標値も達成すると見込む。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、施術券交付者及び利用者の増加に向けて広報を行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	高齢者趣味の作品展	事業期間	昭和 48 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	生きがいづくり・社会参加の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	(目的) 高齢者の趣味による創作作品を広く募集・展示することで、高齢者の生きがいづくり、文化活動への参加促進を図る。 (実施) 佐賀市老人クラブ連合会に開催業務の一部を委託し実施。				
事業の対象者	佐賀市内に居住する60歳以上の高齢者				
令和5年度 主な活動実績	実施会場：図書館2階 中央ギャラリー及びロビー 出品数：147点 来場者数：412人 令和5年作品展：11月23～28日 周知広報：市報さが、ホームページ				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	350	350	700	700	
うち佐賀市の負担額	130	150	190	182	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
出品数						点
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
203	250 170	250 198	250 147	250		

成果指標②						単位
来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
348	500 351	500 398	500 412	500		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	周知広報を工夫し募集をおこなう



成果目標達成に向けた対応策等
作品数、来場者数が増加するように周知広報を行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	高齢者スポーツ大会	事業期間	昭和 51 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	生きがいづくり・社会参加の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	高齢者を対象としたスポーツ大会を実施することで、高齢者の健康維持と生きがいづくりを図り、健康増進と社会活動への参加意欲を高める。				
事業の対象者	佐賀市内に居住する60歳以上の高齢者				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀市老人クラブ連合会に委託し、5月から1月の期間に校区毎に開催。(グランドゴルフ、ゲートボール、ペタンク)</li> <li>・校区毎での開催にあたって、佐賀市老人クラブ連合会を通じて助成。</li> <li>・実施校区数：29校区、参加者総数：4,535人</li> </ul>				
<b>決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,859	1,930	1,930	1,775	
うち佐賀市の負担額	1,229	1,227	1,313	1,283	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4,199	4,199 4,301	4,199 4,362	4,199 4,535	4,199		

年度	目標	実績
R2	4,199	4,199
R3	4,199	4,301
R4	4,199	4,362
R5	4,199	4,535
R6	4,199	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	小学校区または各老人クラブ連合会ごとに分散して開催することになり、参加希望者が全員出席できたため目標を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
高齢者が参加しやすいように、引き続き小学校区などの分散開催をする。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	老人センター等改修事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	生きがいづくり・社会参加の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	地域の高齢者に明るい生活を営んでもらうことを目的として、計画的に市内各老人福祉センター及び金立いこいの家の施工工事を行い、効率的な施設の管理運営を図る。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			12,606	1,210	
うち佐賀市の負担額			2,506	210	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
改修施設数					施設
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		2	1		

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>公共施設等の全体像を把握し、長期的な視点を持って、施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、将来的な市の財政負担を軽減・平準化する。</p> <p>令和7年度久保田農村高齢者交流施設と久保田老人福祉センター解体を予定</p>
---

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	シルバー人材センター助成事業	事業期間	昭和 51 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	生きがいづくり・社会参加の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	高齢者の社会参加の場を提供し、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを支援するために、佐賀市シルバー人材センターの事業に対し補助金を交付する。				
事業の対象者	おおむね60歳以上の高齢者				
令和5年度 主な活動実績	佐賀市シルバー人材センターが行う高齢者就業機会確保事業に対し補助金を交付した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,419	18,419	18,419	17,379	
うち佐賀市の負担額	18,419	18,419	18,419	17,379	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
会員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
902	1,000 864	1,000 836	1,000 849	1,000		

成果指標②						単位
受託事業の契約金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
298,820	310,000 307,200	310,000 301,598	310,000 298,712	310,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	夏場の長雨や猛暑により、草刈や除草・剪定といった野外の就業が予定通りに進まず、一時的に新規受注を中止したため、契約金額が減少したと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
夏場は野外業務だけでなく、他の職種で契約をカバーできるように引き続き広報活動についての協力を行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	高齢者バス優待乗車券購入助成事業	事業期間	昭和 45 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	生きがいづくり・社会参加の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	70歳以上の高齢者に対して、市交通局、昭和自動車（株）が発行する高齢者バス優待乗車券の購入費の一部を助成することにより、高齢者の外出支援・社会参加の促進を図る。				
事業の対象者	市に住民登録している70歳以上の高齢者				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営バス優待乗車券発行枚数：9,145枚</li> <li>・昭和バス優待乗車券発行枚数：1,845枚</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	183,022	170,382	176,102	183,299	
うち佐賀市の負担額	139,427	119,439	119,889	132,533	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
70歳以上の高齢者における市営バス優待乗車券発行枚数						枚
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9,323	11,200 8,593	11,350 8,835	11,550 9,145	11,550		

成果指標②						単位
70歳以上の高齢者における昭和バス優待乗車券発行枚数						枚
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,705	2,550 1,632	2,600 1,716	2,650 1,845	2,650		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	高齢者人口（対象者数）の増加に伴い発行枚数も増加すると考える。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
高齢者以外の交通弱者への施策を行っている他課と連携し、より充実した福祉サービスとしていく必要がある。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	老人クラブ助成事業	事業期間	昭和 48 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	生きがいづくり・社会参加の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	地域を基盤とする高齢者の自主的な組織である老人クラブが行う社会活動促進事業等に対し補助金を交付する。 (社会活動促進事業例)友愛訪問活動、清掃奉仕活動、地域見守り活動、スポーツ活動、教養講座開催等				
事業の対象者	佐賀市老人クラブ連合会及び単位老人クラブ				
令和5年度 主な活動実績	佐賀市老人クラブ連合会及び単位老人クラブが行う社会活動促進事業等に助成を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,086	17,420	16,944	16,256	
うち佐賀市の負担額	13,502	12,854	12,426	11,832	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
単位老人クラブ数						クラブ
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
269	270 256	270 252	270 244	270		

成果指標②						単位
会員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
10,594	10,600 9,729	10,600 9,309	10,600 8,809	10,600		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	老人クラブ会員数が伸びず、クラブ数も減少している。



成果目標達成に向けた対応策等
会員数が減少しているため、加入促進に繋がるような魅力ある老人クラブの活動について、今後も市老連と協議を行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	安否確認事業	事業期間	平成 4 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	安否確認が必要な高齢者等に対して、定期的に居宅に訪問し、当該利用者の安否を確認し、異常等があった場合は、関係機関等への連絡等を行う。定期的にモニタリングし、状況に応じ確認回数等を見直す。				
事業の対象者	概ね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯又はこれに準ずる世帯に属する高齢者等であって、安否確認を行うことが適切な者				
令和5年度 主な活動実績	定期的に居宅に訪問し、当該利用者の安否を確認した。異常等があった場合は、関係機関等への連絡を行った。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	345	319	405	429	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
安否確認数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,294	2,540 2,122	2,540 2,695	2,540 2,861	2,540		

成果指標②						単位
						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	ご家族より相談があり申請に至るケースが増加している。一人暮らしの高齢者が増加していることも利用者増加の一因と考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
独居や高齢者のみの世帯が増える中、必要な人にサービスを利用していただくため、今後もホームページ等での広報や、相談窓口のおたっしや本舗及び民生委員への周知を継続していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

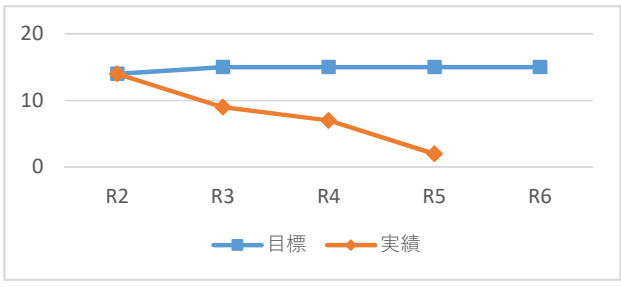
事務事業名	生活支援員派遣事業（生活支援員派遣・短期宿泊）	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	介護予防の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	（生活支援員派遣）社会適応困難な高齢者に日常生活や家事に対する支援・指導を行う。 （短期宿泊）65歳以上の人で、社会適応が困難な高齢者に短期間の宿泊で要介護状態への進行を予防し、日常生活での自立を促す。				
事業の対象者	おおむね65歳以上の社会適応困難な高齢者（介護保険法の要介護の該当者は除く）				
令和5年度 主な活動実績	基本的な生活習慣が欠如している高齢者等に対し、自立した生活ができるよう、日常生活の指導支援を実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,029	1,079	622	307	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

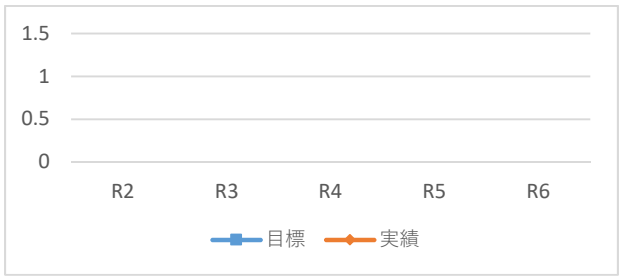
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
14	15 9	15 7	15 2	15		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	家事を習得したいという目的で利用する高齢者が減少傾向にある。



成果目標達成に向けた対応策等
家事等の習慣がなく、介護認定もない地域の高齢者の自立した在宅生活を旨し、今後も引き続き地域包括支援センター等と連携を図り、事業の周知とニーズの発掘を行っていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

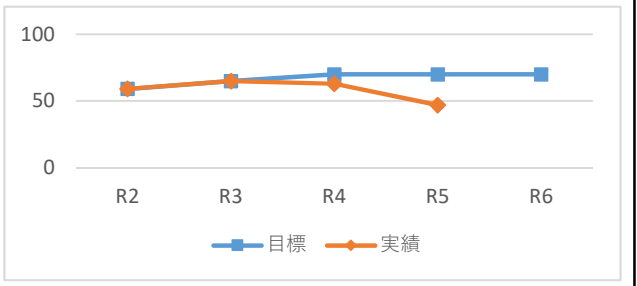
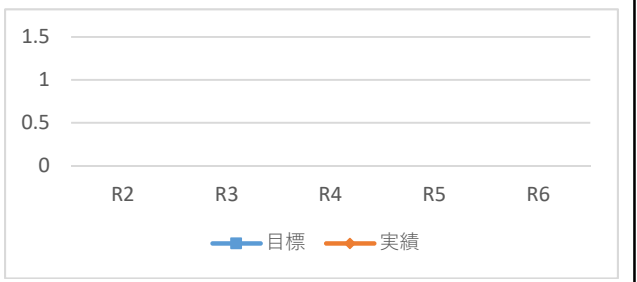
事務事業名	軽度生活援助事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	ひとり暮らしや高齢者のみ世帯などで生活支援が必要な方に軽易な援助を行うことにより、自立した生活の継続と要介護状態への進行を防止する。				
事業の対象者	おおむね65歳以上のひとり暮らし、高齢者のみの世帯等に属するものであって、軽易な生活援助を行うことにより在宅での生活の継続が見込まれる者（ただし、要介護認定を受けていない者に限る）				
令和5年度主な活動実績	援助が必要な在宅の高齢者等に対し、自立した在宅生活を継続できるよう、軽易な家事援助（調理・掃除等）を実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,294	2,444	2,527	2,451	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用人数						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
59	65	65	70	63	70	47
成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	介護認定まで至らないものの、日常生活における軽易な家事支援を必要とする高齢者が一定数おり、適切な援助サービスを提供した。



成果目標達成に向けた対応策等
介護認定のない地域の高齢者の在宅生活を支えるため、今後も引き続き地域包括支援センター等と連携を図り、事業の周知とニーズの発掘を行いながら、市報、ホームページ等で広報に努める。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	在宅高齢者の生活環境を衛生的に保持するため、寝具類の洗濯乾燥消毒を年2回実施する。				
事業の対象者	おおむね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及び身体障がい者1・2級の方で、寝具の衛生管理が困難な市県民税非課税世帯の者				
令和5年度主な活動実績	在宅高齢者の生活環境を衛生的に保持するために、年2回寝具類等の水洗い及び乾燥消毒を実施した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	602	670	643	711	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
82	85 102	85 92	85 95	85		

成果指標②						単位
実施回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
152	160 165	160 150	160 158	160		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	寝具の衛生管理が困難な高齢者からの需要は多く、各事業所等と連携を取りながらサービスを行った。



成果目標達成に向けた対応策等
寝具の衛生管理が困難な高齢者の生活環境維持のため、今後も地域包括支援センター等と連携しつつサービスの周知とニーズの発掘を図り、市報、ホームページ等で広報に努める。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	日常生活用具給付事業（高齢福祉課）	事業期間	平成 18 ～ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	おおむね65歳以上のひとり暮らし世帯等で心身機能及び認知面の低下により火気の取り扱いに不安のある方等に介護保険で給付対象とならない電磁調理器・自動消火器・火災警報器を給付する。				
事業の対象者	心身機能及び認知面の低下に伴い、火気取扱い等に不安があり、見守りが必要な在宅の非課税世帯の虚弱高齢者等				
令和5年度主な活動実績	火気取扱い等に不安のある在宅の虚弱高齢者に、電磁調理器、火災警報器等を給付した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	186	147	123	129	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
日常生活用具給付台数						台
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
18	18 12	18 8	18 9	18		

年度	目標	実績
R2	18	18
R3	18	12
R4	18	8
R5	18	9
R6	18	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	火器の取り扱いに不安のある高齢者は一定数いると考えられるが、申請数は減少している。制度の周知不足が原因と考えられる。

成果目標達成に向けた対応策等
火の取り扱いに不安のある高齢者の安全な在宅生活の一助となるよう、制度の周知・広報を行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

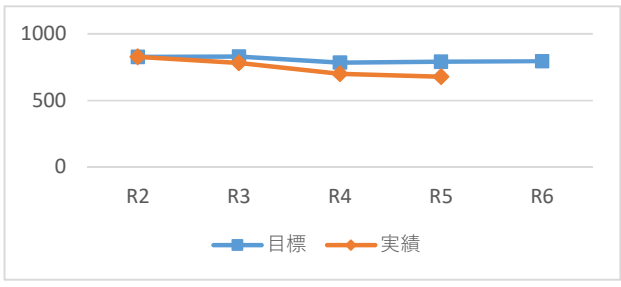
事務事業名	緊急通報システム整備事業	事業期間	平成 1 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	在宅の高齢者等が佐賀市緊急通報システムを利用することで、緊急事態発生時の即応体制を整え、高齢者世帯等の不安を解消するとともに生活の安全を確保し、高齢者福祉の向上を図る。				
事業の対象者	概ね65歳以上の高齢者のみ世帯で身体病弱者、緊急事態に機敏に行動することが困難な重度身体障がい者				
令和5年度 主な活動実績	必要とする高齢者等世帯に対し、緊急通報装置の設置を行った。 本システムによる通報件数：175件（うち救急搬送：36件）				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,421	3,356	4,110	4,295	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

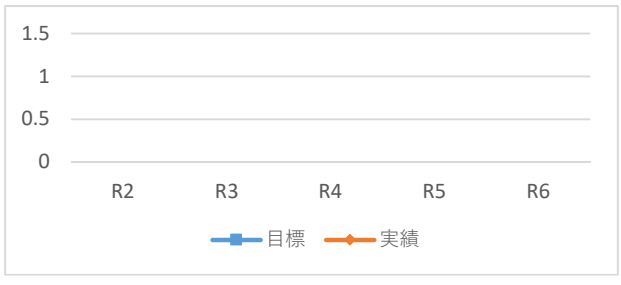
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
緊急通報システムの稼働台数						台
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
828	830 782	785 701	790 679	795		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	携帯電話の普及等の理由により、緊急通報システムの稼働台数は減少傾向にあるものの、本システムによる救急搬送数は一定数を維持しており、緊急事態発生時の即応体制機能は果たしている。



成果目標達成に向けた対応策等
必要とする高齢者等世帯に対し、おたっしや本舗や民生委員等を通じて制度の周知を図る。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

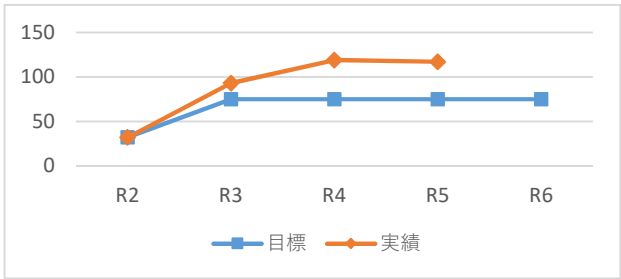
事務事業名	家族介護用品支給事業・在宅介護継続支援事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	在宅の寝たきり高齢者等に対して紙おむつ等の介護用品を支給することにより、高齢者の在宅生活の継続を支援する。				
事業の対象者	在宅生活において紙おむつ等が必要な65歳以上の高齢者で、①要介護者が佐賀市に住民票を有し市内に居住している者、②要介護認定において要介護度3、4、5と判定された者、③市県民税非課税世帯に属する者、④生活保護受給者でない者のすべてに該当する者				
令和5年度主な活動実績	在宅で介護を受けている重度の要介護高齢者に対し、紙おむつ等の介護用品を1月あたり7,650円を上限として支給を行った。				
<b>決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,476	4,487	5,357	5,626	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

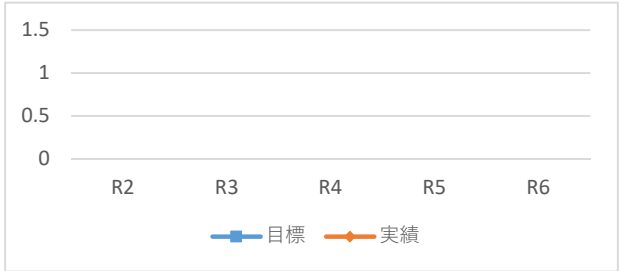
成果指標①						単位
サービス利用人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
32	75 93	75 119	75 117	75		



年度	目標	実績
R2	75	32
R3	75	93
R4	75	119
R5	75	117
R6	75	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2	0.5	0
R3	0.75	0
R4	0.75	0
R5	0.75	0
R6	0.75	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	利用人数は伸びており、市民からのニーズのある事業といえる。



成果目標達成に向けた対応策等
令和3年度から対象者が要介護3～5に拡大されたため、今後、常時紙おむつを使用している高齢者及び介護する家族の経済的、精神的負担の軽減、高齢者の在宅生活の継続につながるよう、引き続き制度の広報啓発に努める。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

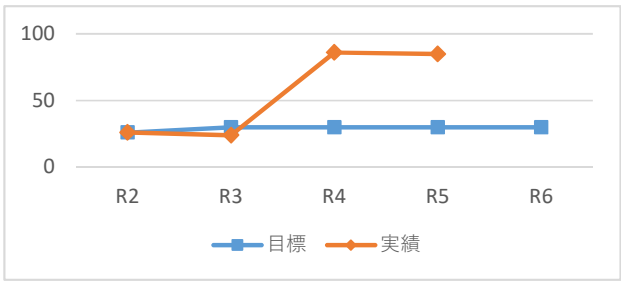
事務事業名	家族介護教室事業	事業期間	昭和 60 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	家族介護者等に対し、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識、技術を習得させるための教室を開催する。				
事業の対象者	高齢者を介護している家族及び近隣の援助者等				
令和5年度 主な活動実績	「認知症の人への介護」をテーマに家族介護教室を3回実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	80	200	200	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

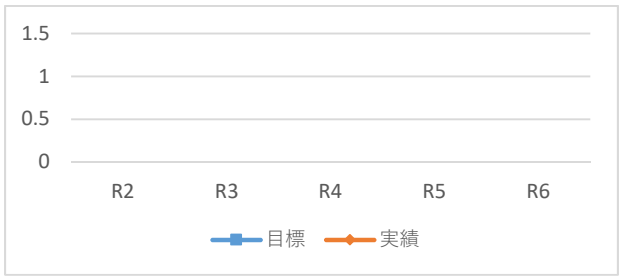
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
26	30 24	30 86	30 85	30		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	いずれの講座も、参加者数もおおむね予定数のとおりである。



成果目標達成に向けた対応策等
認知症高齢者の増加に伴い、令和6年度も引き続き、認知症高齢者を介護する家族を対象とした教室を開催する。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	入院時コミュニケーション支援事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	重度のALS（筋萎縮性側索硬化症）患者が保険医療機関に入院した場合に、医師、看護師等と円滑な意思疎通が図れるよう支援することを目的として、当該患者とのコミュニケーションについて熟知している支援者がその入院中に付き添うために必要な費用の一部を補助する。				
事業の対象者	要介護認定を受けている重度のALS患者であって、現に居宅サービスを利用しており、入院にあたり特別なコミュニケーション技術による支援が必要な者				
令和5年度主な活動実績	平成28年度以降実績はない。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	0	0	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
実利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 0	1 0	1 0	1 0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	要介護認定を受けている重度のALS患者が事業の対象者であり、現に居宅サービスを利用し入院にあたり特別なコミュニケーション技術による支援が必要な方から、利用申請が無い。



成果目標達成に向けた対応策等
現在は利用者はいないが、対象となる方が利用される際には、すぐに対応できるよう予算計上は行っている。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	高齢者実態調査事業	事業期間	平成 3 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	高齢者福祉施策に係る基礎的なデータを得るために、3年に2回、高齢者の世帯状況・身体状況などの実態を調査する。				
事業の対象者	在宅の高齢者（R5年度は65歳以上、R6年度は70歳以上を対象として実施）				
令和5年度主な活動実績	・在宅の65歳以上の高齢者を対象に、「在宅状況」「世帯状況」「日常生活の状況」「健康状態」「緊急の連絡先」等について、民生委員・児童委員による聞き取り調査を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,600	11,139	383	9,565	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
調査件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	63,000 62,136	-	63,000 63,082	63,000		

年度	目標	実績
R2	-	-
R3	63,000	62,136
R4	-	-
R5	63,000	63,082
R6	63,000	-

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	民生委員・児童委員による対面調査を基本としており、回答率95.8%と高い回答を得ることができ、高齢者の見守りを兼ねた現状把握という調査目的を達することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果の検証を行うことで、次回調査に反映させる。</li> <li>・調査の目的や概要を市民に広く周知し、回答率の向上と、在宅高齢者の正確な実態把握に努める。</li> </ul>

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	高齢者ふれあいサロン事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 介護予防係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	介護予防の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	<p>(目的) 家に閉じこもりがちな高齢者に対し、地域のボランティアグループ等の協力のもと、公民館や集会所等において、認知症予防や健康づくりなどの多様な事業を展開することで、高齢者の生きがいと健康づくり活動を推進し、もって社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図る。</p> <p>(実施) 佐賀市社会福祉協議会に委託。</p> <p>(内容) 委託先の佐賀市社協により、前年実績を元に算定した助成金を各サロンに支給し、運営の助成を行う。</p> <p>※平成29年度からおおむね65歳以上の高齢者が対象。</p>				
事業の対象者	佐賀市内に居住するおおむね65歳以上の高齢者				
令和5年度主な活動実績	委託先の市社協により各サロン活動に助成を行った。各サロンは概ね月1回又は年間10回以上開催し、1回当たり概ね10人以上が参加した。				
<b>決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	24,468	23,703	22,811	23,088	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
サロン数						箇所
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
238	240	230	245	221	250	217
						250

成果指標②						単位
サロン参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
7,944	8,000	7,454	8,100	7,089	8,200	6,922
						8,200

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナ禍にともなって、サロン活動も減り、サロン数や参加者数は減った。しかし、減少も最小限に抑えられているため、成果目標は概ね達成している。



成果目標達成に向けた対応策等
サロン活動による支え合いの大切さや介護予防の意義をコミュニティソーシャルワーカー、生活支援コーディネーターにより地域に働きかけを行っていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	生活・介護支援サポーター養成事業	事業期間	平成 21 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 介護予防係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	地域の高齢者の個別の生活ニーズに応える仕組みを安定的・継続的に構築するため、福祉・介護に関する知識や技術を持ったサポーターを養成する。地域高齢者の実状を把握し、総合相談支援の実績がある地域包括支援センターを運営する法人等に委託して、市民向けのサポーター養成講座を実施する。				
事業の対象者	高齢者支援ボランティアに対する意欲のある人				
令和5年度主な活動実績	西九州大学 岡部准教授に講師を依頼し、サポーターフォローアップ講座を開催し、既に登録されているサポーターのフォローアップをした。 また、西九州大学 岡部准教授や地域活動実践者等に講師を依頼し、サポーター養成講座を開催しサポーターを養成した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	248	135	184	225	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
サポーター養成人数						人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
13	30	40	40	40	22	10
成果指標②						単位
サポーターフォローアップ講座						人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
		95	84		31	33

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報でサポーター養成講座への参加を広く呼びかけたが、申込者は減少した。介護や支え合い活動に興味ある方に対する個別の働きかけが足りなかった。</li> <li>・生活・介護支援サポーターに登録している方に対してフォローアップ講座への参加の案内を行ったが、参加者は少なかった。受講者アンケートでは、講義内容に満足された方が多かった。</li> </ul>



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報等で幅広い層に養成講座への参加を呼びかけるとともに、地域包括支援センターや市社協と連携し、介護や支え合い活動に関心ある方に対して、個別にアプローチを行っていく。</li> <li>・フォローアップ講座については、参加に興味をもつように広報を工夫していく。</li> </ul>

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	生活支援体制整備事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 介護予防係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	高齢者が医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムを構築する。生活支援コーディネーターを配置、協議体を設置し情報共有・連携協働することにより、高齢者の介護予防と生活支援サービスの充実を図り高齢者を支える地域づくりを推進する。				
事業の対象者	佐賀市内に居住する65歳以上の高齢者				
令和5年度主な活動実績	第1層SC（高齢福祉課）、第2層SC（地域包括支援センター圏域）配置。第1層協議体（佐賀市全域）、第2層協議体（日常生活圏域）設置。第1層協議体は、介護予防と生活支援について連携・推進する。第2層協議体は、住民主体による生活支援活動を推進する。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,795	6,891	6,696	7,099	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
住民主体サービス補助金事業 助成団体数						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5	6 7	7 8	8 7	9		

Year	Target	Actual
R2	5	5
R3	6	7
R4	7	8
R5	8	7
R6	9	9

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0.5	0.5
R3	0.6	0.6
R4	0.7	0.7
R5	0.8	0.8
R6	0.9	0.9

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	生活支援コーディネーターによる地域への働きかけが、地域での生活支援などの活動を検討するきっかけになり、本補助金の利用につながったが、運営に関わる地域住民スタッフの参加が難しく、令和5年度は事業を廃止され、1団体減少した。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
地域住民、地域団体などに対して、生活支援について、実際に行われている住民による活動を見える化するなどして、地域が身近に感じられるよう生活支援コーディネーターを中心に働きかけを行っていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

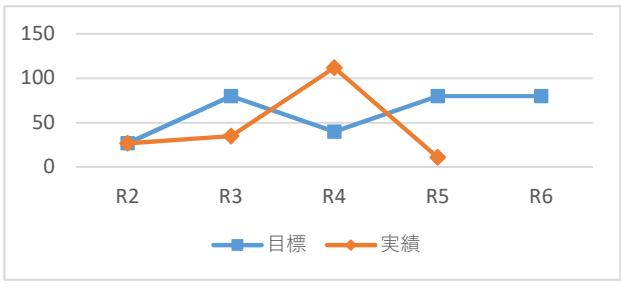
事務事業名	医療連携相談支援事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 地域包括支援係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

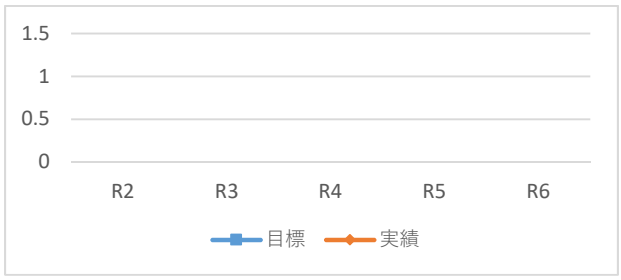
事業概要	高齢者が医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムを構築する。佐賀市在宅医療・介護連携支援センターの設置(事業開始時から令和5年度までは佐賀市医師会へ委託、令和6年度から市直営で運営)や、窓口病院グループ体制の構築、多職種連携研修会の実施等により、医療と介護の切れ目のない連携を推進する。				
事業の対象者	佐賀市内に居住する65歳以上の高齢者				
令和5年度主な活動実績	佐賀市在宅医療・介護連携支援センターを設置し、医療・介護関係者の相談支援や地域住民への普及啓発を行った。 また医療・介護関係者を対象とし、各種研修会や交流会を実施した。				
<b>決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,000	15,303	19,000	16,989	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
在宅医療・介護連携支援センターでの相談件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27	80 35	40 112	80 11	80		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	相談件数は減ったが、研修会や交流会の開催を増やし、医療・介護関係者の顔を見える関係づくりに努めた。



成果目標達成に向けた対応策等
今後も医療・介護の双方での問題の確認、情報の共有を行いながら、連携の事案を積み重ねていき、相談対応力の向上を図る。令和6年度から佐賀市在宅医療・介護連携支援センターを市直営で運営することに伴い、相談支援については新たに一般市民も対象とする。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	高齢者福祉施設マップ更新事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 地域包括支援係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	佐賀市内の介護保険施設や住宅の高齢者福祉施設、在宅医療機関などの情報を市のホームページに掲載し、施設情報をいつでも検索できるようにする。				
事業の対象者	高齢者及びその家族				
令和5年度 主な活動実績	佐賀市内の介護保険施設や住宅の高齢者福祉施設、在宅医療機関などの情報について、ホームページの内容を更新した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	314	314	314	314	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
アクセス数						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
187,205	187,500 205,822	188,000 167,119	188,500 246,417	189,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	登録している施設に対する市民や関係者の認知度が上がったため、ホームページへのアクセス数が下がったと見られるが、ホームページへのアクセス数は約24万件以上で高い水準を維持している。



成果目標達成に向けた対応策等
「高齢者福祉施設マップ」の更新を継続し新規の情報を提供することで、アクセス数を維持する。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	認知症施策推進事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 地域包括支援係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	介護予防の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	「認知症サポーター養成講座」を地域で開催し広く普及啓発を図っており、その修了者に対して、認知症の知識や対応方法をより深く学べる「認知症サポーター・ステップアップ講座」を地域で開催しボランティア活動につなげる。また、行方不明になる恐れがある人の情報を事前に市へ登録することにより、見守り体制を整え、捜索・発見時にスムーズに対応するため「あんしん見守り事前登録事業」を推進する。				
事業の対象者	①認知症サポーター ②認知症高齢者及び介護者				
令和5年度主な活動実績	①認知症サポーター・ステップアップ講座受講者数	60名			
	②あんしん見守り事前登録事業登録者数	78名			
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,944	9,365	8,187	7,317	
うち佐賀市の負担額	61	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ステップアップ受講者数（累計）						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
90	140	215	260	310		
	204	248	308			

成果指標②						単位
あんしん見守り事前登録事業 登録者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
56	50	100	100	100		
	70	88	78			

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	各地域でのステップアップ講座開催支援、国の動向に合わせた勉強会や報告会を実施したことで、ボランティア活動広報活動が地域に広がりつつある。あんしん見守り事前登録事業については、市報やラッピングバスによる広報に加え、地域で行われる認知症サポーター養成講座においても周知を図った。



成果目標達成に向けた対応策等
講座の開催を検討している推進員に対し、検討段階からステップアップ講座内容等について支援を継続して行う。あんしん見守り事前登録事業については、引き続き各認知症地域支援推進員による地域への情報提供を依頼する。また、認知症サポーター養成講座や市報、ホームページ等での広報を継続し、認知症に対する正しい理解を広め地域での見守り体制を整える。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	高齢者世話付住宅生活援助員派遣	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	高齢者世話付き住宅（佐賀市江頭団地【29戸】、佐賀県宮六座町団地【20戸】）の入居者に対し、生活援助員を派遣して生活指導・相談、安否の確認、一時的な家事援助等を行う。緊急通報システムを配置し、緊急時の対応等のサービスを提供する。				
事業の対象者	60歳以上の単身者、高齢者夫婦のみ又は一方が60歳以上の世帯、60歳以上の高齢者のみからなる世帯で、住宅困窮度が高い者。自炊が可能な程度の健康状態であるが、身体機能の低下や高齢者等のため独立して生活するには不安がある者				
令和5年度主な活動実績	生活援助員派遣を社会福祉法人あんず鍋島・扇寿会へ委託。緊急通報システムの保守、点検業務を西部通信興業株式会社へ委託。入居者の見守りを行った。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,237	6,417	6,477	8,165	
うち佐賀市の負担額	3,366	3,440	3,484	5,326	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
入居戸数						戸
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
49	49 49	49 45	49 45	49		

成果指標②						単位
相談件数						
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,595	2,600 2,637	2,600 2,422	2,600 2,148	2,600		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	高齢者が安心して在宅生活を送る自立支援に結びついている。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
生活支援員による見守りや緊急通報システムの設置など、高齢者が安心して在宅生活を送るため環境整備を行うことは、高齢者の自立支援に結びついている。 今後退去により空き室が出た場合は、市報、ホームページで募集を行い空き状況とならないように努める。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	生活支援ハウス運営事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	職員が24時間常駐し、入居者に対し、日常生活の援助、緊急時の対応、必要なサービスの利用手続きの援助等の生活支援を行う。				
事業の対象者	60歳以上の単身世帯、夫婦のみの高齢者世帯及び家族による援助を得ることが困難な方であって、高齢等のため独立して生活することに不安のある方				
令和5年度主な活動実績	社会福祉法人健寿会に運営を委託し、入居者の生活支援を行った。 ・住居の提供 ・日常生活の援助、緊急時の対応 ・必要なサービスの利用手続き等の援助 ・地域住民との交流を図るための場の提供				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,767	7,767	7,767	7,767	
うち佐賀市の負担額	7,767	7,767	7,767	7,767	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
入居者数						
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6	8 8	9 6	10 6	10		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	精神的な不安をお持ちの方からの相談が増えている。入居されている方の感想は「安心して生活できている。過ごしやすい。」との評価が多い。



成果目標達成に向けた対応策等
ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が増加している中、入居相談の主な窓口となる、おたっしや本舗や福祉まると相談窓口との情報共有及び情報提供に努める。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	老人ホーム措置事業	事業期間	平成 18 ~	年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ	
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち		
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実		
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援		

1 事務事業の基本情報

事業概要	家庭環境などの事情によって自宅での生活が困難な方を養護老人ホームに措置する <措置の流れ> ①福祉事務所が民生委員等から通告を受ける ②福祉事務所が対象予定者の面接・調査を行う ③入所の可否を入所審査委員会に諮り、福祉事務所長が措置を決定する ④施設入所待機者となり、施設の空き連絡を受け、入所措置を行う				
事業の対象者	65歳以上の者であって、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な者				
根拠法令等	老人福祉法第11条				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	160,962	161,237	158,139	144,065	
うち佐賀市の負担額	131,141	128,234	123,460	112,444	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
措置人数 (R6.3.31時点)					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
67	69	64	58			
活動実績②					単位	
新規措置人数 (R6.3.31時点)					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
3	9	5	2			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

環境上の理由及び経済的理由により在宅生活が困難な高齢者を審査するにあたっては、対象となる高齢者の状況は各々異なり、近年より複雑化しつつあることから、今後も対象者、関係者への面談・調査を行いながら養護老人ホームへの適切な措置を行うように努める。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	佐賀中部広域連合負担金	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 地域包括支援係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	介護保険事業の円滑な推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	佐賀中部広域連合の構成団体のひとつとして相応の負担金を支出し、介護保険制度の安定的かつ効率的な運営を確保する。				
事業の対象者	佐賀市の65歳以上の高齢者				
根拠法令等	介護保険法第3条、佐賀中部広域連合規約				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	3,188,851	3,144,378	3,145,855	3,230,181	
うち佐賀市の負担額	3,188,851	3,144,378	3,145,855	3,230,181	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
佐賀市の介護認定者数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
13,471	13,319	13,292	13,334			
活動実績②					単位	
介護サービスを受けた者の数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
11,379	11,356	11,474	11,654			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

「団塊の世代」が後期高齢者に差し掛かることから、認定者数及び介護サービスを受ける人は今後も増加が見込まれる。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	社会福祉法人利用者負担減免事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 長寿推進係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	介護保険事業の円滑な推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	社会福祉法人が行った低所得者への介護保険サービス費等（自己負担分）の軽減分に対して社会福祉法人へ補助金を交付することにより、低所得の介護保険サービス受給者がスムーズに介護保険サービスを受けることができる。				
事業の対象者	社会福祉法人でサービスを受ける低所得者				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽減認定者数：120人</li> <li>・補助金交付法人数：12法人</li> <li>・補助金額：5,864,396円</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,258	4,894	4,614	5,864	
うち佐賀市の負担額	1,316	1,223	1,154	2,016	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
軽減認定者のうち、軽減された人の割合						%
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
96.9	100	95.9	100	98.1	100	99.1

成果指標②						単位
						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	事業所等から本制度を周知されておりサービス利用前の方も認定を受けられている。しかし、入所待ち等のためサービス利用に至らず、実際に軽減されない方が出てきている。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
市からも広く本制度を周知させるとともに、軽減対象となるサービスを実施する法人を通して、利用者への本制度の周知を徹底してもらう。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域包括支援センター運営事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 地域包括支援係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	在宅生活・地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を図るため、地域包括支援センターを設置し、地域の高齢者に必要な援助を行う。				
事業の対象者	主に65歳以上の高齢者				
令和5年度主な活動実績	①介護予防マネジメントに関する業務 ②地域の高齢者の実態把握と総合相談・支援に関する業務 ③高齢者の虐待防止・権利擁護に関する業務 ④包括的・継続的マネジメントに関する業務				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,510	3,973	4,044	3,835	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
介護保険その他の保健福祉サービスに関する相談						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,101	2,150 2,839	2,200 2,108	2,250 1,924	2,300		

Year	Target	Actual
R2	2,101	2,101
R3	2,150	2,839
R4	2,200	2,108
R5	2,250	1,924
R6	2,300	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	事業者による代理申請等の介護保険に関する認知度が上がり、相談件数が減少したと考えられる。しかし、窓口の相談件数は年間約2,000件で、高い水準を維持している。



成果目標達成に向けた対応策等
高齢者の介護や福祉に関する総合相談窓口として、関係機関と連携しながら高齢者支援のための対応を維持していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	高齢者健康教育事業	事業期間	昭和 57 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 介護予防係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	介護予防の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	介護予防等に関する正しい知識の普及を図るため、地区の老人クラブやサロンにおいて健康教育を実施する。				
事業の対象者	65歳以上の市民等				
令和5年度 主な活動実績	健康教育の実施回数 144回（前年度より+1回）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	236	182	201	201	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

箇所

成果指標①						単位
健康教育参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,650	3,000 1,404	3,000 2,025	3,000 1,956	3,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度と比較して実施回数は増加したが、参加者数は減少した。前年度は大規模団体（参加者78名）からの依頼があったため、一時的に参加人数が増加したが、各団体の登録人数は減少傾向にある。実施回数とともに団体の参加人数を増やすことが課題である。



成果目標達成に向けた対応策等
主な申し込み団体である、ふれあいサロンや自主グループに対しては、サロンの代表者会議や地域版元気アップ教室の立ち上げ時等で健康講話の広報を行う。申し込みが減少している老人クラブに対しては、団体に対し周知を行い、講話実施回数の増加につなげる。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 介護予防係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	介護予防の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	運動習慣の定着、生活習慣の改善、運動機能の向上などを目指しつつ、高齢者の自主活動が継続できるよう支援することで、高齢者が要介護状態になることを予防する。				
事業の対象者	佐賀市内に居住する65歳以上の高齢者				
令和5年度 主な活動実績	・センター版元気アップ教室 366回 ・地域版元気アップ教室 64回 ・街なか元気アップ教室 14回 その他 介護予防に資する通いの場支援、介護予防支援者養成講座、脳いきいき健康塾自主グループ支援を実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	39,534	39,423	43,359	40,086	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
教室の参加者数（延）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
8,081	12,000 10,133	15,000 11,019	15,000 9,992	15,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度と比較すると地域版元気アップ教室の教室開催数が減少しており、それに伴って参加者数が減少している。



成果目標達成に向けた対応策等
市報などで情報発信を行うなど、介護予防活動への積極的な参加を促進する取組を行う。また、地域版元気アップ教室の立ち上げ数が維持できるように、広報や地域包括支援センターと連携を行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 介護予防係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	介護予防の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	・介護保険の要支援者・事業対象者に対して、住民が主体と構成される団体が通所サービス、訪問サービス、移動サービスを実施する時の運営への助成事業 ・要介護保険の要支援者・事業対象者に対して、「運動器の機能向上」「栄養改善」「口腔機能の向上」の複合的な個別プログラムによる通所サービスを専門職により短期間に集中して実施する事業				
事業の対象者	市内の65歳以上の高齢者のうち、要支援1・2の認定を受けている者、又は総合事業対象者				
令和5年度主な活動実績	・住民が主体として実施する通所サービス、訪問サービス、移動サービスに対して助成を実施した。 ・ケアプランに基づき必要とされた方に、短期集中プログラムの提供した。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,438	1,878	2,130	2,144	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
住民主体サービス利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
74	100 126	110 143	120 133	130		

年度	目標	実績
R2	74	74
R3	100	126
R4	110	143
R5	120	133
R6	130	130

成果指標②						単位
通所型サービスC事業利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	10 2	10 2	10 0	10		

年度	目標	実績
R2	3	3
R3	10	2
R4	10	2
R5	10	0
R6	10	10

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	本サービスの利用について、事業者や地域包括支援センター(ケアマネージャーや生活支援コーディネーターなど)が連携して利用の働きかけを行った為。



成果目標達成に向けた対応策等
介護保険事業での取り組みであることから、地域包括支援センターに配置しているケアマネージャーや生活支援コーディネーターなどと連携を行いながら実施していく。



令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	指定介護予防支援事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	高齢福祉課 地域包括支援係	担当課長名	詫間 さとみ
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	15住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	
	基本事業	介護予防の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	<p>【目的】 要支援 1, 2 の認定を受けた人の心身の状態に応じた、適切な指定介護予防支援を提供し、高齢者の自立した生活を支援する。</p> <p>【内容】 介護予防サービス計画の作成、介護予防サービス事業者等との連絡調整、利用者に対する相談援助を行う。佐賀中部広域連合地域包括支援センター運営協議会が承認した指定居宅介護支援事業者へ業務の一部を委託している。</p>				
事業の対象者	介護保険の要支援 1, 2 の認定を受けたもの（成章中学校区）				
令和5年度主な活動実績	要支援者449名のうち、介護予防サービス希望者389名と契約を行い心身の状態に応じて介護予防ケアプランの作成を行った。（数値は年間平均）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,050	19,647	19,184	20,263	
うち佐賀市の負担額	4,114	4,191	3,271	3,511	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
サービス利用により状態が維持・改善された件数						件
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
338	342 353	349 361	401 389	408		

成果指標②						単位
サービス利用により状態が維持・改善された高齢者の割合						%
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
88.7	88.5 87.6	88.5 86.2	88.5 86.6	88.5		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	サービスの利用による身体等の状態変化に応じて、適切なサービスへの内容変更や改善によるサービスの終了とその後のフォローについて検討を行い、支援対象者の状態の維持改善は概ねできている。

成果目標達成に向けた対応策等

支援を要する高齢者の心身の状態を適切にアセスメントし、介護予防支援サービスや介護予防事業等の利用により、心身の機能の維持向上ができるよう支援を行っていく。また、支援対象者の状況に応じた各種サービスの検討・導入により、地域の高齢者が自立した生活が送れるよう支援を行っていく。